

クリスマス市セレモニー

KOUTANSA
YAMAGUCHI

光 誕 祭

や
ま
ぐ
ち

2012/1月

22

※会場へのお車の乗り入れはできません。周辺有料駐車場を利用ください。亀山公園駐車場の利用はご遠慮ください。

きずな大合唱
どなたでもご参加いただけます。

「きずな」

作詞:湯川れい子 作曲:宮川彬良

眼には見えないものが
まるで空気のように
見えるものよりずっと 大切な存在

人に言われるよりも
失くして 気がついた
懐かしい あの声と

笑顔に 会いたい
THANKS TO YOUR LOVE
ありがとう

星より多い数の 先祖たちが それぞれに

時に熱く 時に重く
つながり合って 結んできた きずな

何万年前の昔から 今ここに生きる わたしまで
流れる愛は 奇跡のように

海よりも 深い想いに 包まれて 知らずに
生かされている

ありがとう 生まれてきたこと
ありがとう きずなに感謝

とても小さなことが
なぜかわざわしくて

誰も要らないなんて 思うけど 違うよ

どんな 辛い時代も

飢えて寒い 夜も
暖めてくれた

誰かが いたから
今日がある

THANKS TO YOUR LOVE

ありがとう

何十億の人は 誰もみんな それぞれに
時に笑い 時に泣いて

夢を求めて 愛を運ぶ きずな

なぜに 傷つけ合うの

世界中で ただひとりだけの
あなたという 大事な命

いつまでも いつの日までも

幸せでありますように…と 祈る

ありがとう 生まれてきたこと

ありがとう きずなに感謝

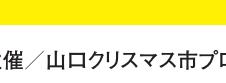
ありがとう 生まれてきたこと

ありがとう きずなに感謝

◎主催／山口クリスマス市プロジェクト ◎共催／山口カトリック教会・(一財)山口観光コンベンション協会 ◎後援／山口市・山口市教育委員会

お問い合わせ先 | 山口クリスマス市プロジェクト TEL 083-929-3947

◎協賛



カイゴ の チカラ
デイサービスセンター

JAPAN AIRLINES

◎協力

Knt

近畿日本ツーリスト
株式会社近畿日本ツーリスト中四国

山口銀行

JASRAC K9288043



山口サビエル記念聖堂蔵

Yoshitaka Ouchi

大内義隆

龍福寺蔵

★ 3年ぶりリアル開催!!

「きずな」を歌いましょう!!

CONCEPT

出会いと絆が生む奇跡

～音楽と光が紡ぎ合う大聖堂～

日本で最初にクリスマスを祝った史実をまちの宝にして、
寛容で、きずなを大切にする志を受け継ごうと、

「12月、山口市はクリスマス市になる。」を合言葉に、

「クリスマス市セレモニー」「やまぐち光誕祭」を開催します。

フランシスコ・サビエルと大内義隆のきずな、そして、

大切な家族や仲間とのきずなを想う、

山口のクリスマスを、心ゆくまでお楽しみください。

+ キズナ大合唱
+ やまぐち光誕祭

宮川彬良先生ファミリー ダイナマイトしゃかりきサーカス



寺岡恵美 パイプオルガン演奏

+ 歌の奉納

+ 「クリスマスのお話」
山口カトリック教会 アルフレド神父

+ The Voices of Japan(VOJA) Unlimited tone

+ 「クリスマス市宣言」
山口サビエル記念聖堂の鐘
「主は仰せになる」 聖歌隊+ 山口サビエル記念聖堂の鐘
聖歌隊

+ プログラム

開場 17:30
開式 18:00
終了 18:50

やまぐち光誕祭

PROGRAM

SCENE 1 「出会い」

フランシスコ・サビエルは山口を訪れ、西国一と称される守護大名の大内義隆に2度謁見しました。この出会いが、日本のクリスマス発祥の、奇跡の始まりです。

SCENE 2 「贈り物」

2度目の謁見の際、サビエルはインドの初代司教と総督からの書簡とともに、機械式時計、鉄砲、鏡子、美しい結晶ガラス、鏡、眼鏡等、十三の立派な贈物を贈呈しました。

SCENE 3 「繁栄」

大内義隆は、サビエルの布教の願いを寛容な心で受け入れ、その翌年、山口で、日本で最初の降誕祭が祝われました。二人の出会いによって、日本文化と西洋文化が融合し、豪華絢爛な大内文化も新たな広がりが生まれました。山口の人々は、歴史・文化の象徴として、山口サビエル記念聖堂を愛し続けました。

SCENE 4 「絆」

ところが、1991年、山口サビエル記念聖堂、焼失。しかし、聖堂を愛する人たちの絆は、落胆した気持ちを、再建への情熱に変えていきます。

SCENE 5 「奇跡」

その情熱は、まちを愛する人たちの心を集め、奇跡を起こします。1998年4月29日、山口サビエル記念聖堂は再建されました。

PRODUCE 夜景評論家
丸々もとお

(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー

やまぐち光誕祭

PROGRAM

SCENE 1 「出会い」

フランシスコ・サビエルは山口を訪れ、西国一と称される守護大名の大内義隆に2度謁見しました。この出会いが、日本のクリスマス発祥の、奇跡の始まりです。

SCENE 2 「贈り物」

2度目の謁見の際、サビエルはインドの初代司教と総督からの書簡とともに、機械式時計、鉄砲、鏡子、美しい結晶ガラス、鏡、眼鏡等、十三の立派な贈物を贈呈しました。

SCENE 3 「繁栄」

大内義隆は、サビエルの布教の願いを寛容な心で受け入れ、その翌年、山口で、日本で最初の降誕祭が祝われました。二人の出会いによって、日本文化と西洋文化が融合し、豪華絢爛な大内文化も新たな広がりが生まれました。山口の人々は、歴史・文化の象徴として、山口サビエル記念聖堂を愛し続けました。

SCENE 4 「絆」

ところが、1991年、山口サビエル記念聖堂、焼失。しかし、聖堂を愛する人たちの絆は、落胆した気持ちを、再建への情熱に変えていきます。

SCENE 5 「奇跡」

その情熱は、まちを愛する人たちの心を集め、奇跡を起こします。1998年4月29日、山口サビエル記念聖堂は再建されました。

PRODUCE 夜景評論家
丸々もとお

(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー

やまぐち光誕祭

PROGRAM

SCENE 1 「出会い」

フランシスコ・サビエルは山口を訪れ、西国一と称される守護大名の大内義隆に2度謁見しました。この出会いが、日本のクリスマス発祥の、奇跡の始まりです。

SCENE 2 「贈り物」

2度目の謁見の際、サビエルはインドの初代司教と総督からの書簡とともに、機械式時計、鉄砲、鏡子、美しい結晶ガラス、鏡、眼鏡等、十三の立派な贈物を贈呈しました。

SCENE 3 「繁栄」

大内義隆は、サビエルの布教の願いを寛容な心で受け入れ、その翌年、山口で、日本で最初の降誕祭が祝われました。二人の出会いによって、日本文化と西洋文化が融合し、豪華絢爛な大内文化も新たな広がりが生まれました。山口の人々は、歴史・文化の象徴として、山口サビエル記念聖堂を愛し続けました。

SCENE 4 「絆」

ところが、1991年、山口サビエル記念聖堂、焼失。しかし、聖堂を愛する人たちの絆は、落胆した気持ちを、再建への情熱に変えていきます。

SCENE 5 「奇跡」

その情熱は、まちを愛する人たちの心を集め、奇跡を起こします。1998年4月29日、山口サビエル記念聖堂は再建されました。

PRODUCE 夜景評論家
丸々もとお

(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー

やまぐち光誕祭

PROGRAM

SCENE 1 「出会い」

フランシスコ・サビエルは山口を訪れ、西国一と称される守護大名の大内義隆に2度謁見しました。この出会いが、日本のクリスマス発祥の、奇跡の始まりです。

SCENE 2 「贈り物」

2度目の謁見の際、サビエルはインドの初代司教と総督からの書簡とともに、機械式時計、鉄砲、鏡子、美しい結晶ガラス、鏡、眼鏡等、十三の立派な贈物を贈呈しました。

SCENE 3 「繁栄」

大内義隆は、サビエルの布教の願いを寛容な心で受け入れ、その翌年、山口で、日本で最初の降誕祭が祝われました。二人の出会いによって、日本文化と西洋文化が融合し、豪華絢爛な大内文化も新たな広がりが生まれました。山口の人々は、歴史・文化の象徴として、山口サビエル記念聖堂を愛し続けました。

SCENE 4 「絆」

ところが、1991年、山口サビエル記念聖堂、焼失。しかし、聖堂を愛する人たちの絆は、落胆した気持ちを、再建への情熱に変えていきます。

SCENE 5 「奇跡」

その情熱は、まちを愛する人たちの心を集め、奇跡を起こします。1998年4月29日、山口サビエル記念聖堂は再建されました。

PRODUCE 夜景評論家
丸々もとお

(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー

やまぐち光誕祭

PROGRAM

SCENE 1 「出会い」

フランシスコ・サビエルは山口を訪れ、西国一と称される守護大名の大内義隆に2度謁見しました。この出会いが、日本のクリスマス発祥の、奇跡の始まりです。

SCENE 2 「贈り物」

2度目の謁見の際、サビエルはインドの初代司教と総督からの書簡とともに、機械式時計、鉄砲、鏡子、美しい結晶ガラス、鏡、眼鏡等、十三の立派な贈物を贈呈しました。

SCENE 3 「繁栄」

大内義隆は、サビエルの布教の願いを寛容な心で受け入れ、その翌年、山口で、日本で最初の降誕祭が祝われました。二人の出会いによって、日本文化と西洋文化が融合し、豪華絢爛な大内文化も新たな広がりが生まれました。山口の人々は、歴史・文化の象徴として、山口サビエル記念聖堂を愛し続けました。

SCENE 4 「絆」

ところが、1991年、山口サビエル記念聖堂、焼失。しかし、聖堂を愛する人たちの絆は、落胆した気持ちを、再建への情熱に変えていきます。

SCENE 5 「奇跡」

その情熱は、まちを愛する人たちの心を集め、奇跡を起こします。1998年4月29日、山口サビエル記念聖堂は再建されました。

PRODUCE 夜景評論家
丸々もとお

(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー

やまぐち光誕祭

PROGRAM

SCENE 1 「出会い」

フランシスコ・サビエルは山口を訪れ、西国一と称される守護大名の大内義隆に2度謁見しました。この出会いが、日本のクリスマス発祥の、奇跡の始まりです。

SCENE 2 「贈り物」

2度目の謁見の際、サビエルはインドの初代司教と総督からの書簡とともに、機械式時計、鉄砲、鏡子、美しい結晶ガラス、鏡、眼鏡等、十三の立派な贈物を贈呈しました。

SCENE 3 「繁栄」

大内義隆は、サビエルの布教の願いを寛容な心で受け入れ、その翌年、山口で、日本で最初の降誕祭が祝われました。二人の出会いによって、日本文化と西洋文化が融合し、豪華絢爛な大内文化も新たな広がりが生まれました。山口の人々は、歴史・文化の象徴として、山口サビエル記念聖堂を愛し続けました。

SCENE 4 「絆」

ところが、1991年、山口サビエル記念聖堂、焼失。しかし、聖堂を愛する人たちの絆は、落胆した気持ちを、再建への情熱に変えていきます。

SCENE 5 「奇跡」

その情熱は、まちを愛する人たちの心を集め、奇跡を起こします。1998年4月29日、山口サビエル記念聖堂は再建されました。

PRODUCE 夜景評論家
丸々もとお

(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー

やまぐち光誕祭

PROGRAM

SCENE 1 「出会い」

フランシスコ・サビエルは山口を訪れ、西国一と称される守護大名の大内義隆に2度謁見しました。この出会いが、日本のクリスマス発祥の、奇跡の始まりです。

SCENE 2 「贈り物」

2度目の謁見の際、サビエルはインドの初代司教と総督からの書簡とともに、機械式時計、鉄砲、鏡子、美しい結晶ガラス、鏡、眼鏡等、十三の立派な贈物を贈呈しました。

SCENE 3 「繁栄」

大内義隆は、サビエルの布教の願いを寛容な心で受け入れ、その翌年、山口で、日本で最初の降誕祭が祝われました。二人の出会いによって、日本文化と西洋文化が融合し、豪華絢爛な大内文化も新たな広がりが生まれました。山口の人々は、歴史・文化の象徴として、山口サビエル記念聖堂を愛し続けました。

SCENE 4 「絆」

ところが、1991年、山口サビエル記念聖堂、焼失。しかし、聖堂を愛する人たちの絆は、落胆した気持ちを、再建への情熱に変えていきます。

SCENE 5 「奇跡」

その情熱は、まちを愛する人たちの心を集め、奇跡を起こします。1998年4月29日、山口サビエル記念聖堂は再建されました。

PRODUCE 夜景評論家
丸々もとお

(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー

やまぐち光誕祭

PROGRAM

SCENE 1 「出会い」

フランシスコ・サビエルは山口を訪れ、西国一と称される守護大名の大内義隆に2度謁見しました。この出会いが、日本のクリスマス発祥の、奇跡の始まりです。

SCENE 2 「贈り物」

2度目の謁見の際、サビエルはインドの初代司教と総督からの書簡とともに、機械式時計、鉄砲、鏡子、美しい結晶ガラス、鏡、眼鏡等、十三の立派な贈物を贈呈しました。

SCENE 3 「繁栄」

大内義隆は、サビエルの布教の願いを寛容な心で受け入れ、その翌年、山口で、日本で最初の降誕祭が祝われました。二人の出会いによって、日本文化と西洋文化が融合し、豪華絢爛な大内文化も新たな広がりが生まれました。山口の人々は、歴史・文化の象徴として、山口サビエル記念聖堂を愛し続けました。

SCENE 4 「絆」

ところが、1991年、山口サビエル記念聖堂、焼失。しかし、聖堂を愛する人たちの絆は、落胆した気持ちを、再建への情熱に変えてい